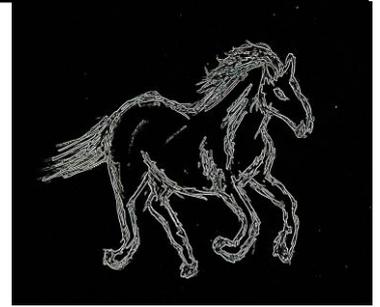


新年を迎えて



新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に寄せていただく温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

さて、2026年の幕開けです。今年は干支で「丙午（ひのえうま）」にあたり、太陽のような強いエネルギーに満ち、新たな変革が加速する年だと言われています。また、アジア競技大会の開催など、多様な文化や価値観が日本に集まる、活気あふれる一年となることでしょう。

私が昨年訪れた海外の学校でも、新しい時代の風を強く感じました。印象的だったのは、子どもたちがタブレット等の端末を文房具のように使いこなし、膨大な情報の中から自分に必要な問いを見付け出していた姿です。自らの学びを広げ深めている、そのスピード感と、より良く学ぼうとする熱意に深い感銘を受けました。

しかし、情報の海を泳ぐ力が向上しているからこそ、今、改めて求められているのが「情報との上手な付き合い方」です。画面の向こうにある情報の正しさを見極める力、そして何より、デジタルな繋がりの中にあっても、目の前の相手と体温の伝わる言葉で心を通わせる力です。

本校が大切にしている読書科、生活科、総合的な学習の時間においても、今年は「情報を賢く使い、対話で深める」学びをさらに充実させていきます。一人で情報を整理し考える時間と、そこで得た考えを仲間と共有し、対話を通して新しい価値を生み出していく時間。この往復を繰り返すことで、溢れる情報に流されるのではなく、自分の足で立ち、仲間と共に成長していく姿を目指していきます。

自分の考えを大切にしながら、相手の考えにも真摯に耳を傾ける。そんな日常の関わりこそが、子どもたちが未来を生き抜く確かな力となります。2026年の力強い歩みとともに、子どもたち一人一人が安心して学び、飛躍できる学校づくりに、教職員一同邁進します。本年も変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

開庁時間等のご案内

随時更新中！

<p>開庁時間 月～金：8:00～17:00 定時退勤日：8:00～16:30 土曜授業：8:00～12:00</p>	<p>電話受付時間 月～金：8:00～17:00 定時退勤日：8:00～16:30 土曜授業：8:00～12:00</p>	<p>1月定時退勤予定日 14・21日(水) ※予定が変わる場合がありますので ホームページにてご確認ください。</p>	<p> 左のQRコードをスマートフォンなどで読みとっていただきますと、江戸川小学校 HP 携帯サイトにアクセスできます。</p>
---	---	--	--

席書会について

冬休みには、各ご家庭にて書き初めの宿題実施へのご協力をいただき、ありがとうございました。
以下の日程で席書会を行います。

日程	実施時間	学年	実施場所
1月9日(金) 1月13日(火)	午前	1年 2年	各学級
1月9日(金)	1・2校時 3・4校時	3年 4年	体育館
1月13日(火)	1・2校時 3・4校時	5年 6年	

当日は書写道具や新聞紙等、道具が必要となりますので、ご準備をお願いいたします。
席書会にて書いた作品は、1月19日(月)から23日(金)まで校内に展示をします。
書初め展の鑑賞時間は15:15~16:30です。(※受付終了時刻16:10)

書初め展最終日の1月23日(金)5校時は授業公開を行います。
そのため23日のみ13:05~16:30まで作品をご覧いただけます。



★授業公開★

1月23日(金)5校時 13:05~13:50 各学級へお越しください。



豊かな心を育む体験授業

1月27日(火)は、1・2年生を対象とした「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」があります。
これは東京都教育委員会が都内の公立学校を対象に多様な体験活動を提供し、豊かな
心の育成につなげる取り組みです。本校では劇団「太鼓と芝居のたまっ子座」による
「どうぶつ忍者太鼓」を上演していただきます。1・2年生は当日を楽しみにしています。



続く29日(木)には劇団四季による「美しい日本語教室」が行われます。これは劇団四季の
俳優の方々が日頃から舞台上で実践している台詞術のメソッドを基に、日常で活かせる“美しい
日本語の話し方”を学ぶプログラムです。今回は5年生を対象に
授業をしていただきます。



本校では、子どもたちが広い視点で豊かに学ぶことを目指し、
年間を通じて学年ごとに様々な体験授業を取り入れています。



1月24日～30日は 全国学校給食週間です！ 学校給食について知ろう！

学校で食べる給食は、単なる昼ごはんではなく、栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康に良い食事のとり方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための教材となるものです。このように、現在ではさまざまな教育的効果が期待される学校給食ですが、もともとは、おなかをすかせた子どもたちのために、学校で昼ごはんを提供したことが始まりでした。

学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889（明治22）年、山形県鶴岡町（現・鶴岡市）にある大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で始まったとされています。大督寺のお坊さんが家々を回ってお経を唱え、いただいた米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するための方法として国から奨励され、各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
おにぎり 塩ヅケ 漬物	五色ごはん 栄養みそ汁	すいとんのみそ汁

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946（昭和21）年に、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950（昭和25）年度からは冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
ミルク（脱脂粉乳） トマトシチュー	コッペパン ミルク（脱脂粉乳） 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に



1954（昭和29）年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃	カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。